

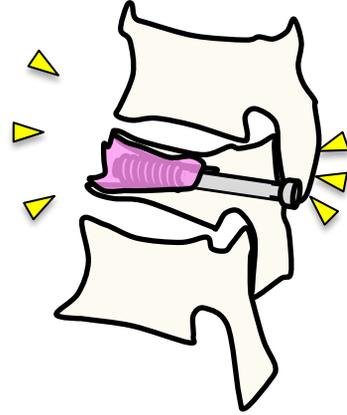
【事業者名】

株式会社スパインクロニクルジャパン

【ビジネスプラン名】

骨粗鬆症性脊椎骨に対する低侵襲椎体補強手術デバイスの開発

【内容】高齢者人口の増加に伴い骨粗鬆症性椎体骨折や腰部脊柱管狭窄症等の脊椎疾患に対する治療需要が増加しているが、日本で主に使用されている脊椎治療機器は輸入品で、日本の高齢者に適合していない場合が多く、手術後にインプラントの緩みや隣接する椎体に障害が起こるなどのリスクが高い。脆くなった骨にセメントを充填する方法を改良するとともに、同時に挿入するインプラントも開発することで、最終的に骨を補強しつつ過度に椎体を連結固定しない治療法を確立し、これらの課題克服を目指す。



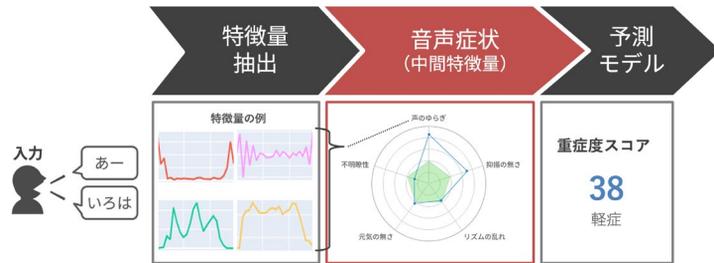
【事業者名】

PSTメディカル株式会社

【ビジネスプラン名】

音声解析技術を用いたうつ病の重症度評価補助ツールの開発販売

【内容】WHOによると、日本ではうつ病の患者数が約506万人と推計されており、その数は増加傾向にある。うつ病の診断では、問診や心理検査等を基に評価が行われており、医療従事者および患者ともに時間的・心理的負担が大きい。そこで、音声に含まれるうつ症状に関連した特徴量（音声症状）を解析し、簡便かつ客観的にうつ病の重症度を評価する医療機器プログラムを開発する。本機器により、うつ病の早期発見と早期治療に結びつけることで、より良い医療と患者QOLの向上に貢献する。



【事業者名】

フィジオロガス・テクノロジーズ株式会社

【ビジネスプラン名】

水道水を使用しない在宅血液透析装置の開発

【内容】通院による血液透析治療は一般的に週3回・1回4時間で実施するため、間欠的で患者への身体的負担が大きい。また、通院による時間的制約から、就労の際の制限にもつながり、患者のQOLに大きく影響している。現状の在宅向け血液透析装置は給排水設備を必要とするため大型で、また、医療従事者向けのため操作が難しい。そこで透析液をシステム内で再循環させる技術により給排水設備を不要とし、また、患者が家庭で簡易に操作できる在宅向けの小型の血液透析装置を開発し、患者への身体的・時間的負担を軽減する。

